

トルコの金融市場動向 Weekly Report

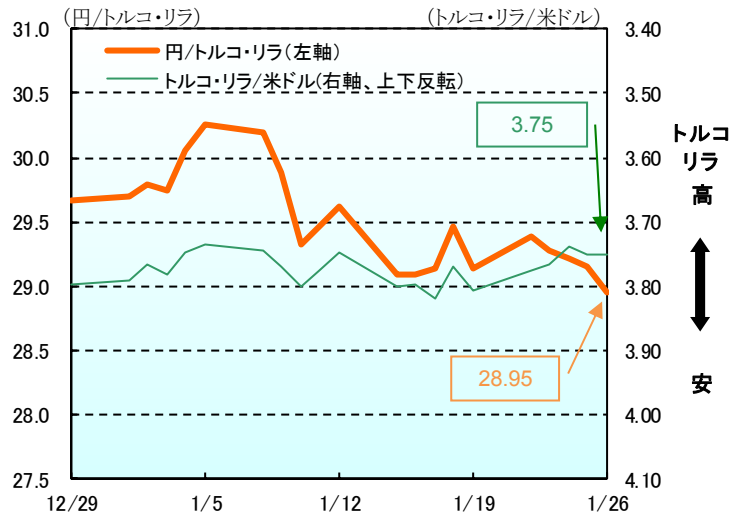
【2018年1月20日～2018年1月26日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は1週間を通して見ると対米ドルでは上昇した一方、対円では下落しました。またトルコの2年国債金利は低下しました。

先週は特段重要な経済指標の発表はありませんでした。シリアのクルド人勢力PYD(民主連合)が掌握するシリア北西部への軍事作戦が開始されましたが、市場への影響は限定的となりました。トルコ金融市場では、トルコ・リラは円高が進展したことから対円では下落した一方、米ドル安を受けて対米ドルでは堅調な推移となりました。通貨が堅調な推移となり、投資家のリスク選好姿勢が強まったことからトルコの2年国債金利は低下しました。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2017年12月29日～2018年1月26日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

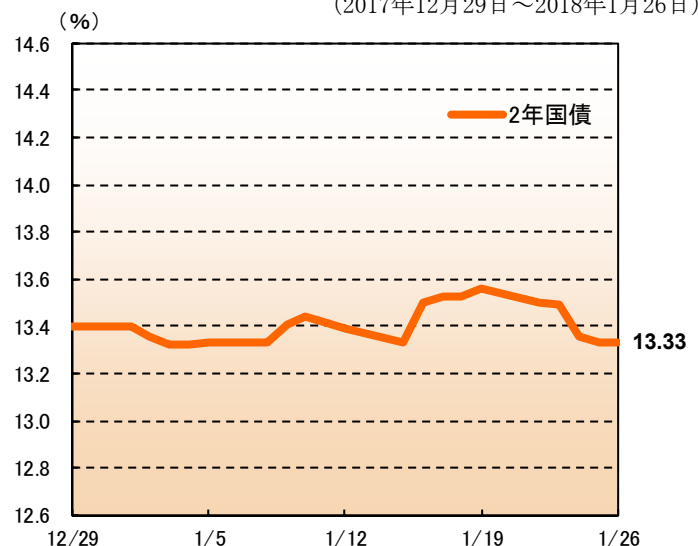
【2】今週の見通し

今週は、12月貿易収支の発表が予定されています。事前の市場予想では、貿易赤字額が前月よりも拡大することが見込まれています。

引き続き、トルコがシリアのクルド人勢力PYDに対する軍事行動を実施していることから地政学リスクの高まりに注意が必要なほか、米国で予定されているトランプ大統領の一般教書演説やFOMC(米国連邦公開市場委員会)、雇用統計の発表など外部要因が相場を動かす材料となりやすいと予想します。

【トルコ 金利推移】

(2017年12月29日～2018年1月26日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>